

デザイン思考で UX向上を図る

研修開催

日本生産性本部は11月10日、ソシオメディアデザインコンサルタントの田附克巳氏を講師に招き、デザインシンキング研修を都内で開催した。

から用いてきた、問題解決のアプローチ、手法、ツールを指す。簡単に言えば、デザイナーが普段行っている仕事のやり方を学ぶことだ」と述べた。

冒頭、田附氏は「デザインシンキングとアイデアを絞り切れない段階で製品やサービスのプロトタイプをたくさん作り、③出来上がったものを検討して修正を繰り返す」という特徴を持つという。相手があって初めて成り立つという点で、自身の表現に最も重きを置くアーティストとも、頭の中にある仮説を十分深化させてから



研修の様子

それは、①顧客の様子をよく観察し、②アイデアを絞り切れない段階で製品やサービスのプロトタイプをたくさん作り、③出来上がったものを検討して修正を繰り返すという特徴を持つという。相手があって初めて成り立つという点で、自身の表現に最も重きを置くアーティストとも、頭の中にある仮説を十分深化させてから

研修講師を務めたソシオメディア・デザインコンサルタント 田附克巳氏の話
社会システムそのものの変革を余儀なくされている昨今、問題解決に向けたデザインの必要性が求められています。モノやサービスは過剰に溢れるにもかかわらず、お客様ご自身も明確な課題やニーズがわからない時代です。また、従来型の価値観や方法論では新しい解決策が構築できないことが増えてきました。

研修講師を務めたソシオメディア・デザインコンサルタント 田附克巳氏の話
社会システムそのものの変革を余儀なくされている昨今、問題解決に向けたデザインの必要性が求められています。モノやサービスは過剰に溢れるにもかかわらず、お客様ご自身も明確な課題やニーズがわからない時代です。また、従来型の価値観や方法論では新しい解決策が構築できないことが増えてきました。



顧客視点忘れないために

座学だけでなく手を動かしていただくワークショップを実施しましたが、受講者の皆様がいきいきと楽しみながらワークショップ課題に取り組んでおられたのが印象的でした。顧客視点とは昔から言われていることですが、忘れがちになり、学ぶ、デザインシンキングの活用が目まぐるしくなっています。

今回の研修では、デザインシンキングの切り口から、問題解決のアプローチや方法論を学んでいただきます。座学だけでなく手を動かしていただくワークショップを実施しましたが、受講者の皆様がいきいきと楽しみながらワークショップ課題に取り組んでおられたのが印象的でした。顧客視点とは昔から言われていることですが、忘れがちになり、学ぶ、デザインシンキングの活用が目まぐるしくなっています。

今後、試行錯誤のアップロード手法であるデザインシンキングは以前から着目しており、今回テーマ別人材育成研修の一つに採用しました。デザインシンキングは、いざ実践することの難しさがある一方で、徹底的な顧客視点を得るために必要な考え方です。受講者からは、「お客さまの真のニーズを見極める重要性を再認識した」との感想も寄せられており、今後も、試行錯誤を繰り返しながら「デザインシンキング」を定着させていきます。



受講者の声

同本部では、組織がデザインを通じてその戦略的目標およびミッションを達成し、効率的なビジネス環境の開発・維持を実現するための支援「UXマネジメントソリューション」を提供している。問い合わせは、コンサルティング部、電話03-3511-4060まで。

の解決策の提示)の反復だ。デザイン思考に注目が集まっている背景には、問題解決に直行する単線型の思考、分析的・論理的な思考では、インベータータイプなアイデアや商品開発は難しいとの問題意識があるとされる。いまや顧客は機能や価格ではなく、体験(＝UX、

ユーザエクスペリエンス)の質に最も関心を持って、商品を選んでいるとも言われる。研修ではミニワークショップも開かれ、自身の思考を外に開き、枠を一つずつ厳密に処理しようとし、曖昧なままにしておくことがコツだとも付け加えた。

田附氏は「お客様には提供者が考える決ま

た。座学だけでなく手を動かしていただくワークショップを実施しましたが、受講者の皆様がいきいきと楽しみながらワークショップ課題に取り組んでおられたのが印象的でした。顧客視点とは昔から言われていることですが、忘れがちになり、学ぶ、デザインシンキングの活用が目まぐるしくなっています。

高橋桂子・大樹生命保険お客さまサービス統括部副部長の話
弊社では「ひとつひとつの、夢によりその」をメッセージに、2018年度から3カ年の中期経営計画を策定しており、お客さま本位の業務運営に取り組んでいます。その観点において、課題解決

のアップロード手法であるデザインシンキングは以前から着目しており、今回テーマ別人材育成研修の一つに採用しました。デザインシンキングは、いざ実践することの難しさがある一方で、徹底的な顧客視点を得るために必要な考え方です。受講者からは、「お客さまの真のニーズを見極める重要性を再認識した」との感想も寄せられており、今後も、試行錯誤を繰り返しながら「デザインシンキング」を定着させていきます。